

# 地域振興の基盤としての高速鉄道網の整備促進 及び地方鉄道の近代化・安全確保の支援について

【 国土交通省 】

## 提案・要望の内容

### 1 高速鉄道網の整備促進について

フリーゲージトレインの実用化に向けた研究開発を速やかに進め、早期に伯備線に導入するとともに、建設事業費への財政支援制度を創設すること。

### 2 地方鉄道の近代化・安全確保の支援について

地方鉄道の近代化・安全確保を推進する鉄道軌道近代化設備整備事業費補助金について、総額を確保すること。

### 1 高速鉄道網の整備促進

#### 【 現状と課題 】

中国横断新幹線及び山陰新幹線は、基本計画線として決定されているものの、整備計画線への格上げは未だに進展していない状況にある。

JR伯備線は、山陰と山陽・関西さらには四国地区を結ぶ重要な線区であるが、地形上の制約から曲線が多く、高速化・時間短縮の大きな妨げとなっている。

岡山駅での新幹線との乗り継ぎも、移動時間短縮の大きな支障となっている。

〔フリーゲージトレインの最近の技術開発〕

- ・ H15～16年度 在来線、山陽新幹線での走行試験
- ・ H17年度 新型台車・車体の製作
- ・ H18年度 九州新幹線での走行試験予定



#### 【 本県の取組状況・方針 】

伯備線へのフリーゲージトレイン導入促進に向けての意見交換会、要望活動等

- ・ 平成15年12月本県議会より、導入を要望する意見書を国会及び国土交通省に提出
- ・ 鳥取、島根、岡山三県議会議員協議会と国会議員との意見交換会：毎年1～2回実施
- ・ 鳥取、島根、岡山三県協議会による国土交通省並びに国会議員への要望：毎年実施

#### 【 提案要望の効果 】

大都市圏と直結する高速鉄道ネットワークの整備・充実は、中国地方の一体的な振興と経済文化の発展に大きく寄与することが期待される。

フリーゲージトレインは、在来線と新幹線との直通運転が可能なことから、到達時間短縮及び乗り継ぎの解消により移動時間の短縮が図られる。

(参考) 時間短縮効果

新大阪～出雲市 22分 岡山～出雲市 19分

## 2 地方鉄道の近代化・安全確保の支援について

### 【現状と課題】

J R事故発生以降、地方鉄道の近代化による安全確保が求められている。

一畑電車の線路や電路、車両などの運行のための施設や設備において老朽化が著しく、計画的な更新や修繕が必要である。

### 【本県の取組状況・方針】

本県と沿線自治体において、平成18年度から従来の赤字補填による支援を廃止し、地球温暖化防止にも有効な公共交通機関である一畑電車の線路・電路・車両の更新や修繕等の近代化・安全確保の推進に対し積極的な財政支援を行うこととしている。

#### 〔一畑電車の概要〕

- ・ 1912（明治45）年開業
- ・ 営業キロ数 42.2km
- ・ 年間利用者数 約150万人
- ・ 保有車両数 電車24両
- ・ 平成18年度 鉄道事業を分社化



### 【提案要望の効果】

一畑電車の更新・修繕工事等の近代化・安全確保が計画的に実施できるようになる。

安全性、利便性の向上による利用者増が図られる。

URL : <http://www2.pref.shimane.jp/koutuu/railroad/main1.htm>